

Tips ～ロボットプログラミング選手権を勝ち抜くために～

①大会HP内のリンクからプロロの動かし方やプログラムの仕方の基礎を学ぼう！

- ・プロロの学習テキスト「はじめてのプロロ」(富士ソフト)
<https://amiten.co.jp/articles/education/first-proro-220829>
→プロロのプログラムの基礎について確認してみよう！
- ・プロロ製品 HP 上の「Proro の使い方」
<https://www.mirai-school.jp/proro/how-to/index.html>
→リンク先のロボットバトルのサンプルプログラムを活用してみよう！
※大会の土俵は、白黒が逆転しているのでご注意ください。
- ・株式会社アミテンの.youtube チャンネル
https://www.youtube.com/@amiten_edu
→ロボット相撲の様子を動画で見て、どんなプログラムが強いかな分析してみよう！

②ロボット相撲においては、床センサは左右のセンサを使うと反応が早くなる！

- ・中央のセンサは色を、左右のセンサは明るさで白黒を判別するセンサ。
- ・中央のセンサは反応が遅いため、100%出力で走行した場合、白線検知が間に合わず、土俵から落下してしまう可能性があります。もちろん、他の競技や課題で中央のセンサを使用することに問題はありません。色に応じて動作を変えることは発想を広げるのに役立ちます。

③プログラムをきれいに作ろう！

- ・不要な部品（使用しないプログラムの部品）は残さないようにしよう！
→不要なプログラムがあると予期せぬ動作不良を起こしたりします。
- ・メソッドを分けるときは、ラベルを付けて、動作がわかるようにしよう！
- ・プログラムは見やすいように配置しよう！
⇒プログラムは提出物です。“清書”することを心がけよう！

④工夫してデバック（プログラムの確認）をしよう！

- ・プログラムの分岐後に色や音の動作を入れよう！
→どの動作を行っているか判別できるようになります。
- ・同じ動作はメソッドに分けて見やすくしよう！